

## 10. 学業特待選抜 2 次 [専願・併願]

学業特待選抜 2 次は、一般推薦の出願者のうち、特に学業に優れた人を対象として行う選抜です。合格者には、奨学金として授業料相当額（69万円）の全額または半額が支給されます。

学業特待選抜 2 次が不合格の場合、一般推薦の受験者として合否判定を行います。（受験料の別途追加は必要ありません）

- ・[専願] で出願し合格した場合は、必ず本学へ入学していただきます。学業特待選抜 2 次が不合格で、一般推薦が合格の場合は、併願を可とします。
- ・[併願] で出願し合格した場合は、本学へ入学した場合にのみ奨学金が支給されます。

### (1) 出願資格

「9. 学校推薦型選抜・一般推薦」(p. 9) の出願資格を満たし、入学後の学習目標を明確に持っている者です。

### (2) 出願手続

#### ① 出願書類の提出

下記の出願書類一式を巻末の封筒（角形 2 号）を利用し、願書受付期間内必着で簡易書留・速達扱いにて郵送してください。持参される場合は、平日 9:00~17:00 の間に鳥取短期大学 入試広報課へお持ちください。

| 出願書類一式                       | 備考   |
|------------------------------|--|
| 入学願書・受験票・受験確認票<br>(学業特待選抜 用) | 本学所定の用紙（入学者選抜・学生募集要項の巻末）<br><b>第二志望の学科・専攻がある場合は、必ず記入してください。</b><br>(第二志望受験による受験料の別途追加は必要ありません)                   |
| 写真（3 枚）                      | たて 4 cm × よこ 3 cm（入学願書・受験票・受験確認票に貼付してください）   |
| 調査書                          | 出身学校で作成し厳封されたもの  |
| 推薦書（一般推薦 用）                  | 本学所定の用紙（入学者選抜要項の巻末）<br>(学力の 3 要素に関する評価が記載されたもの)<br><b>推薦書の「学業特待の有無」欄に必ず○をしてください</b><br>(推薦書への第二志望の学科・専攻の記入は不要です) |
| 受験票送付用封筒                     | 巻末の封筒 長形 3 号（住所・氏名を明記したもの）   |

※奨学金制度利用希望者（「とりたんファミリー支援（入学金免除型）」・「とりたん同窓会支援（入学金免除型）」）は、「19. 奨学金制度」(p. 26) を確認の上、該当する支援制度の願書を提出してください。

#### ② 受験料の払込

受験料 25,000円 ※「6. 受験料の払込方法」(p. 6) を確認の上、願書受付期間内に払い込みください。

### (3) 試験日程

| 願書受付期間                      | 試験日       | 試験会場 | 合格発表     | 入学手続締切日        |
|-----------------------------|-----------|------|----------|----------------|
| 11月9日(火)~<br>11月18日(木)17時必着 | 11月28日(日) | 本学   | 12月5日(日) | 12月17日(金)17時必着 |

### (4) 試験時間

| 9:00~9:10 | 9:30~10:10               | 10:30~11:15                          | 11:35~12:20                            | 13:20~  |
|-----------|--------------------------|--------------------------------------|--|---|
| 連絡        | 小論文<br>(思考表現型)<br>300字程度 | [学力試験]<br>国語<br>(国語総合〔古文・<br>漢文を除く〕) | [学力試験]<br>英語<br>(コミュニケーション<br>英語 I・II) | 個人面接 (国際文化交流学科、情報・<br>経営専攻、住居・デザ<br>イン専攻、食物栄養専攻)<br>集団面接 (幼児教育保育学科) |

※第二志望の学科・専攻がある場合は、第一志望の面接終了後、引き続いて第二志望の面接を行います。

### (5) 選抜方法

学力試験（国語と英語の 2 教科）・面接・書類審査の結果を総合して判定します。学力試験は、「思考力・判断力・表現力」を評価するため、自らの考えを立論し、それを表現する記述式問題を含みます。